

米国環境保護庁
ワシントン, D.C.20460

大気放射局

2019年10月29日

ENERGY STAR® データセンター用ストレージ パートナー関係者各位

米国環境保護庁(EPA)は、このレターにより ENERGY STAR データセンター用ストレージ適合基準バージョン 2.0 第 1 草案を発表する。関係者は 2019 年 11 月 29 日までに storage@energystar.gov 宛に意見を送付することを勧める。

EPA は以前、ストレージプログラムを簡素化すること、稼働モードに基づく EPA の差別化アプローチ計画を導入すること、Emerald V4.0 の策定に関する初期意見を要求することに焦点を当てた、関係者の再検討と意見のためのディスカッションガイド(論点整理)を発表した。EPA は現在、受け取ったディスカッションガイドに応じるすべての意見を考慮した適合基準第 1 草案を発表する。基準中の注記は、提案に対する EPA の論理的根拠を提供する。また、この配布には EPA データセット、第 1 草案で提案された水準、および潜在的な製品適合の推定を含むデータパッケージが添付されている。

適合基準バージョン 2.0 第 1 草案には次の重要な内容が組み込まれている：

エネルギー基準：トランザクションおよび/またはストリーミング作業負荷用に最適化されたブロック I/O 製品に対して、稼働状態のエネルギー効率要件が提案された。適合のためには、すべてのブロック I/O ストレージ製品はこれらの要件を満たす必要がある。これらの要件は、バージョン 2.0 においてはファイル I/O 製品に適用することは提案されていないが、主に水準を決定するためのファイル I/O 製品データの量が不十分であることによる。

内部電源 (IPS)：関係者の意見に基づいて、IPS 要件の厳格さが増したが、単一出力 IPS については 80Plus Platinum、複数(マルチ)出力 IPS については 80PlusGold に一致させるためである。

試験の簡素化：ディスカッションガイドで提案したように、製品群は適合した作業負荷タイプごとに単一の最適構成試験点で代表される。試験点の簡素化により試験の負担が軽減され、製品群の構造が大幅に簡素化される。

意見の提出

EPA は添付の適合基準バージョン 2.0 第 1 草案に対する関係者の意見を歓迎する。関係者は 2019 年 11 月 29 日までに storage@energystar.gov 宛に意見を送付することを勧める。寄せられた全ての意見は、提出者が非公開にすることを求めない限り [ENERGY STAR Product Development website](#) に掲載される予定である。

関係者ウェビナーの開催

EPA は本基準バージョン 2.0 第 1 草案に対する質問に答えるため、2019 年 11 月 5 日午後 1 時から午後 3 時 (米国東部標準時) にウェビナーを主催する。ウェビナーへの参加を希望する場合は、[こちら](#)で登録をすること。

EPA と産業およびその他関係者との間の考えおよび情報交換は ENERGY STAR 成功にとって重要である。基準および会議資料は e メールで配信され、ENERGY STAR ウェブサイトに掲載する予定である。EPA の基準改定に関する進捗を調べるには [storage product development website](#) を参照のこと。

本基準改定に関する質問もしくは懸念については、小職 Fogle.Ryan@epa.gov もしくは 202-343-9153 又は John Clinger 、ICF、John.Clinger@icf.com もしくは 215-967-9407 に連絡のこと。データセンター用ストレージに関連するその他の質問は storage@energystar.gov に連絡のこと。

ENERGY STAR プログラムへの継続的な支援に感謝する。

敬具

Ryan Fogle

ENERGY STAR IT およびデータセンター製品、EPA マネジャー

別添資料：

適合基準バージョン 2.0 第 1 草案

第 1 草案データパッケージ